



令和6年度第1回地域ケア推進会議

資料1-1

令和6年(2024年)11月8日  
八王子市社会福祉審議会  
高齢者福祉専門分科会  
高齢者福祉課

# 「地域ケア会議」・「地域ケア推進会議」の理解を深める

～市の施策につなげていくために～

# 今回の主旨・目的

今回は、委員の改選もあり、改めて「地域ケア会議」及び「地域ケア推進会議」について理解を深めることを目的としている。

「地域ケア会議」とは、市内21か所に設置している「高齢者あんしん相談センター」が開催するもので、高齢者の抱える様々な困りごとについて、生活支援コーディネーター、認知症地域支援推進員、医療従事者、介護従事者、リハビリ専門職、民生委員・児童委員、家族介護者、市民、民間企業等多くの主体が参加し、多角的な検討をすることで、個別ケースや地域の課題解決を図るために開催するものです。

また、「地域ケア推進会議」は、地域ケア会議で把握した市全体の地域課題について、委員の皆様に、解決に向けて議論していただき、市の施策につなげていくものとなっている。

# 地域ケア推進会議の今後のイメージ

現場の気づきを市の施策へ！

審議・提案

地域ケア推進会議

課題抽出・案件選定

直接反映

庁内関係所管も随時参加  
(子ども・生活福祉・産業・交通等)

基幹型地域包括支援センター（高齢者福祉課）



報告  
連携

助言

高齢者あんしん相談センター（21か所）

総合相談など  
多様な業務

地域ケア会議

（仮）地域包括ケア  
庁内連携会議

高齢者福祉課  
福祉政策課  
高齢者いきいき課  
介護保険課 など

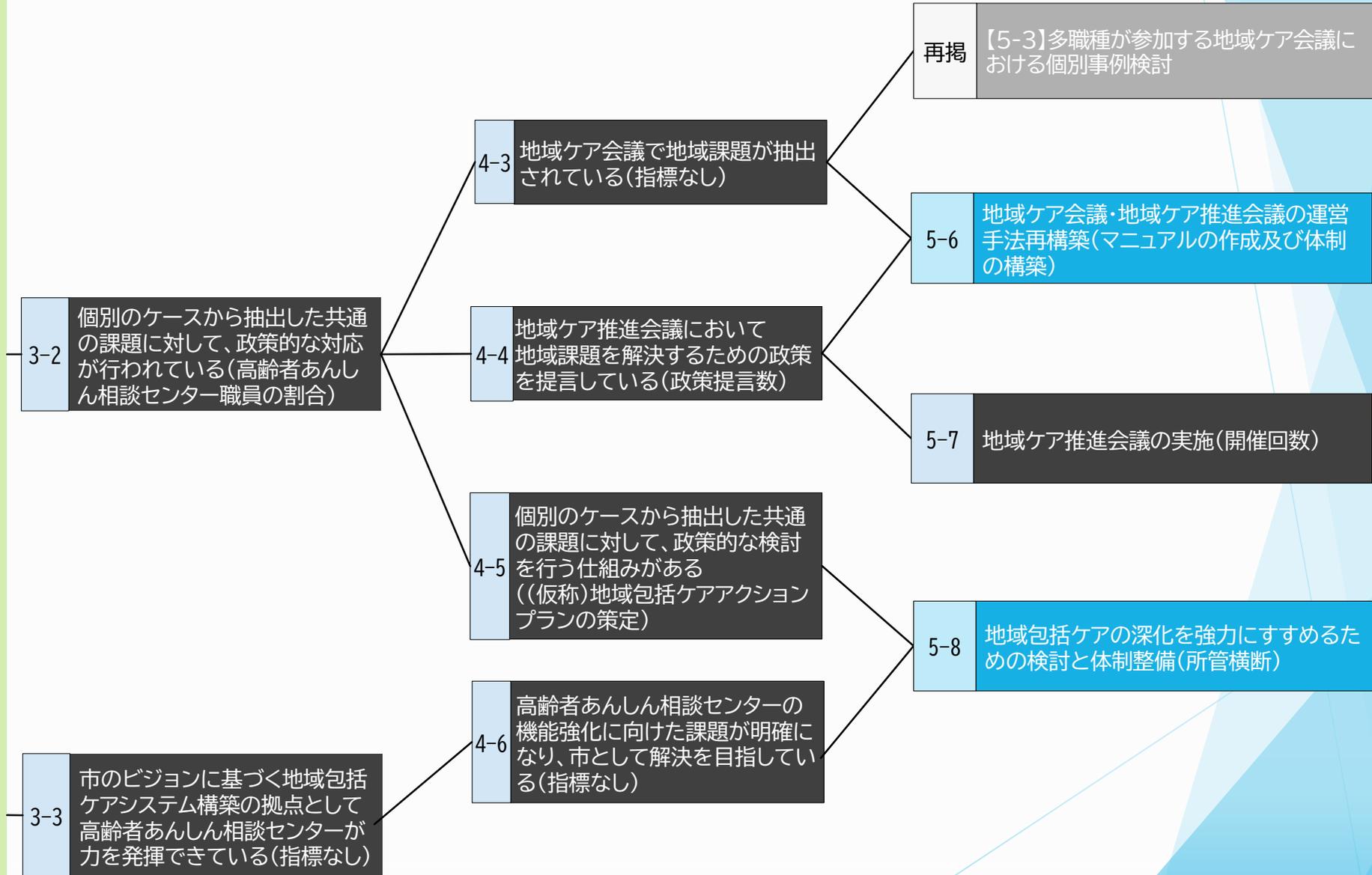
- ・重層的支援体制整備
- ・生活支援体制整備
- ・認知症総合支援
- ・介護保険制度 等

中間アウトカム

初期アウトカム

事業

多様な職種や機関が連携して個人や地域の課題を解決している



# 「地域ケア会議」での課題から「地域ケア推進会議」で施策とした事例

## ■ 施策とした例

令和6年度から令和8年度(9期計画期間)の「地域包括支援センター運営業務委託契約」に、**「8050問題等課題のある家族の実態把握・早期発見・早期対応に繋げる取り組み」**を市内全域の「高齢者あんしん相談センター」で実施するよう契約書に反映。

【令和5年度第4回地域ケア推進会議にて審議】



## ■ 審議概要

昨年度の「地域ケア推進会議」では、令和4年度に「地域ケア会議」として取り上げられた、「地域の実態把握」、「重層的支援に課題のある家族の早期発見・早期対応」の2圏域の取組を紹介している。

また、本市には「高齢者あんしん相談センター」が21か所あり、どこの圏域においても一定の行政サービスの提供が求められている。

「地域の実態把握」は、早期の支援につなげる最初のアクションであり、また、日頃から高齢者宅を訪問する「ケアマネジャー」から情報を収集するなど工夫した実態把握は、把握することが難しい「8050問題」や「ヤングケアラー」を抱える家族の一層の早期発見・早期対応につながるものと考えている。

こういった取組は、事態が重篤となる前に「高齢者あんしん相談センター」等の支援機関が早期に対応していく重要な取り組みであり、ゆくゆくは、高齢者あんしん相談センターの負担軽減と機能強化につながっていくものと確信している。

# 令和5年度「地域ケア会議」の事例報告

地域ケア会議

## 「高齢者あんしん相談センター恩方圏域における災害時の取り組みについて」

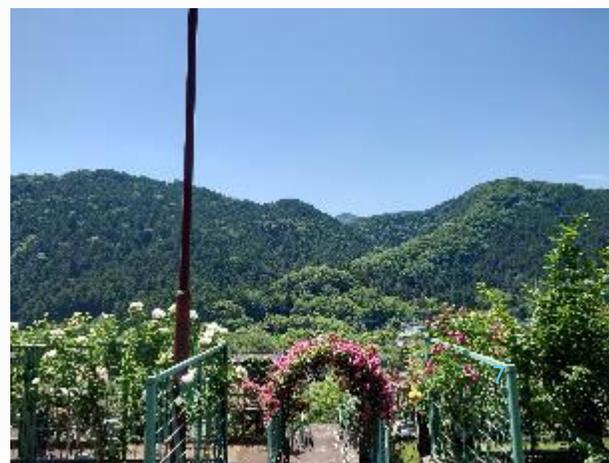
高齢者あんしん相談センター恩方（地域包括支援センター恩方）

看護師/介護支援専門員/高齢者あんしん相談センター恩方センター長  
看護師/社会福祉士/介護支援専門員/高齢者あんしん相談センター恩方主任

勝野 奈穂  
矢野 憲二

# 高齢者あんしん相談センター恩方

平成29年4月に恩方事務所内に新設



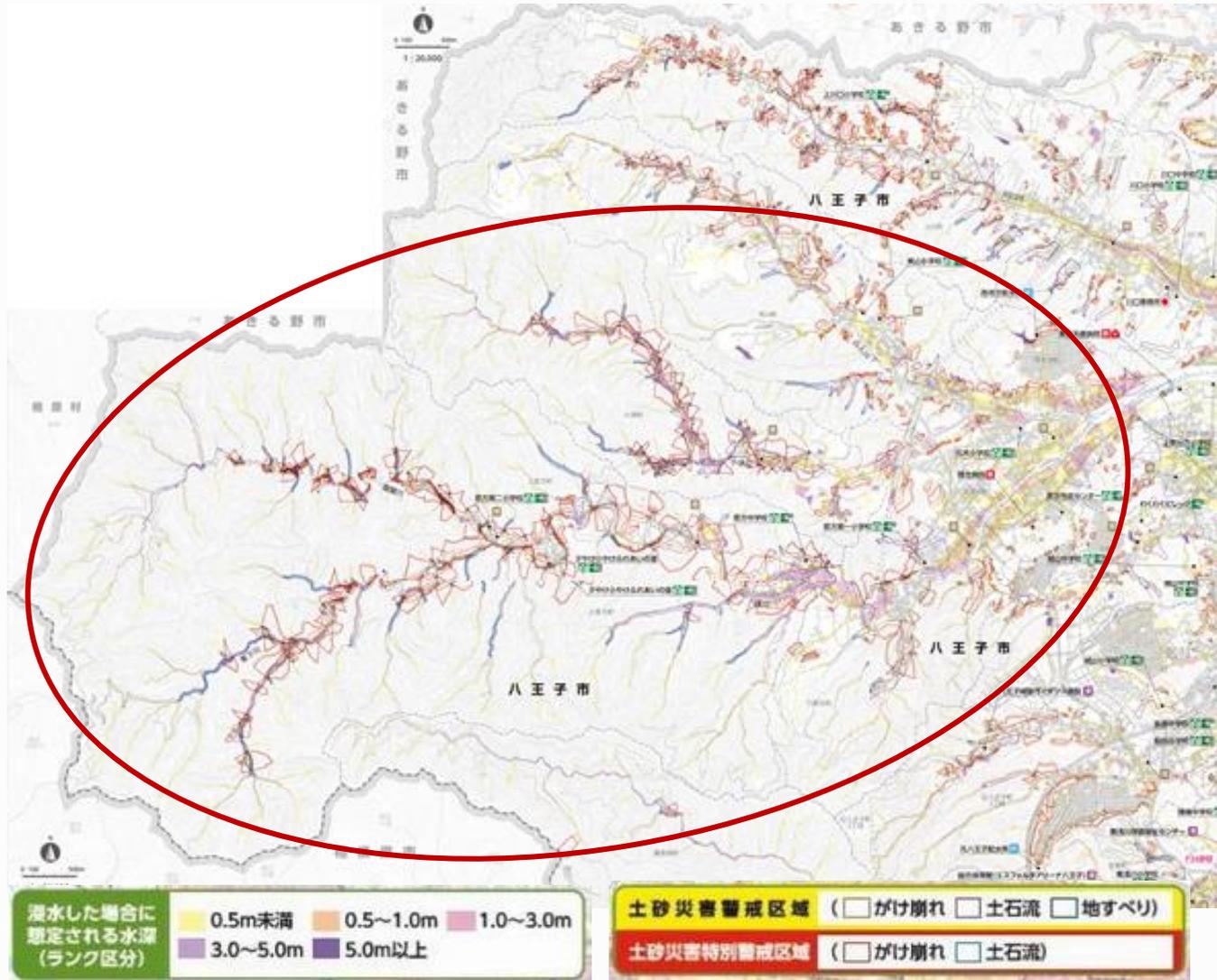
# 1 災害対策に取り組み始めた経緯

【令和元年東日本台風を経験】

- ★発災前・発災時・発災後の地域包括支援センターの役割とは？
- ★発災時の地域の動きとは？
- ★本当に避難所へ避難できる？
- ★避難所の環境とは？
- ★発災後の地域支援は？



## 2 高齢者あんしん相談センター恩方圏域の状況



<担当地域>  
上恩方町  
下恩方町  
西寺方町  
小津町  
美山町

# 3 台風19号発生における経過

日にち	時間	気象状況	避難情報	八王子市対応	包括対応
令和元年 10月10日	16時55分			高齢者福祉課より全包括支援センターへメールにて「台風19号(東日本台風)に伴う開所について」の連絡あり	高齢者福祉課からの連絡を受け、包括恩方は土砂災害警戒区域であること。また10月12日土曜日の事務所開所は行わず、緊急電話対応とすることを決定。
令和元年 10月11日	11時30分			水防警戒本部設置	<p>「高齢者福祉課⇒包括メール内容」</p> <p>高齢者あんしん相談センター センター長各位</p> <p>台風19号につきまして12日(土)から13日(日)にかけて八王子市にも接近する見込みとの事です。 12日(土)の各センターの対応につきましては、以下の通りご対応をお願いします。</p> <p>【センター開所について】 原則、開所 ただし、公共交通機関の遅れや連休が見込まれますので、可能な限りでの開所で結構です。 【市民への訪問・来所の約束について】 すべてキャンセル 【センターでのイベント等開催について】 全て中止</p>
	13時00分			自主避難場所開設 (富士森体育館)	
令和元年 10月12日	4時14分	大雨警報 (土砂災害・浸水害)			
	6時32分	洪水警報発表			
	8時00分		避難勧告 (警戒レベル4)		
	12時13分	土砂災害警戒情報発表			緊急携帯へ地域住民より恩方地区の被害状況、避難場所での状況報告有。
	15時30分	大雨特別警報発表	避難指示(緊急) (警戒レベル4)	・水防対策本部設置 ・市内24か所避難所開設 <恩方圏域> 元木小学校 恩方第二小学校 美山小学校 追加:恩方市民センター	包括職員の応援を示唆する内容の話があったが、避難所には市職員が支援にあたっていること、また避難勧告中の包括職員の移動に伴うリスクを鑑み、報告を伺うことにとどめる。
	23時55分	大雨特別警報から大雨警報(土砂災害)へ切り替え			

# 4 令和元年東日本台風の実際

## ○避難状況

恩方第二小学校	:20世帯	51名
元木小学校	:143世帯	436名
美山小学校	:30世帯	65名

## ○被害状況

- ・床上・床下浸水
- ・土砂災害
- ・河川氾濫に伴う岸壁崩壊
- ・断水
- ・公共交通機関の運休 など



参考：「令和元年東日本台風」八王子の記録  
台風19号に伴う本誌の被害状況について（10月16日現在）

# ○災害発生後の当センターの活動

- ・圏域内高齢者の安否確認、実態把握  
電話、自宅訪問での対応
- ・東浅川保健福祉センター職員との実態把握  
同行訪問による対応
- ・民生委員、町会自治会への被害状況確認  
地域巡回による実態把握
- ・災害ボランティアへの駐車場提供

など



# ○東日本台風でわかった事

## <地域からの声>

- ・初めてのことで、どうしたらよいかわからなかった。
- ・避難対象のなのに、避難ができなかった。
- ・避難したかったが、迷っているうちに避難するタイミングを逃した。
- ・避難したが、避難所の環境がつかかった。

## <包括の想い>

- ・初めてのことに戸惑いながらできることを行っただけであった。
- ・地域の動きが把握できなかった。
- ・平時から準備が必要。

# 5 当センターでの取り組み

## ○令和2年度

< 地域福祉拠点恩方と1回/月会議 >

・令和元年東日本台風の時の、高齢者あんしん相談センター恩方と地域福祉拠点川口での活動内容の共有

・当日から被災後の地域の状況の共有

・令和元年東日本台風での地域での課題の検討

⇒ **地域の声を聴いてみよう！**

< 美山町にて地域ケア会議開催 >

テーマ:美山町における地域課題について

< 恩方地区町自連会長と打ち合わせ >



# ○令和3年度

## < 地域ケア会議開催 >

### ◆恩方地区2回/年

テーマ:①自主防災組織の活動状況と課題について  
②第2回自主防災組織の活動と課題について

参加者: 町自連会長、恩方圏域自主防災会、町会防災担当、  
八王子市生活安全部防災課、高尾警察警備課、高尾警察駐在所、はちまるサポート恩方、  
高齢者あんしん相談センター恩方生活支援コーディネーター



## < ①会議内容 >

- 災害時の情報収集が行えない
- 災害時要援護者について把握できる体制作り
- (認知症や障害等を持つ)高齢者の避難に困難があった
- コロナ禍にて避難訓練が行えない

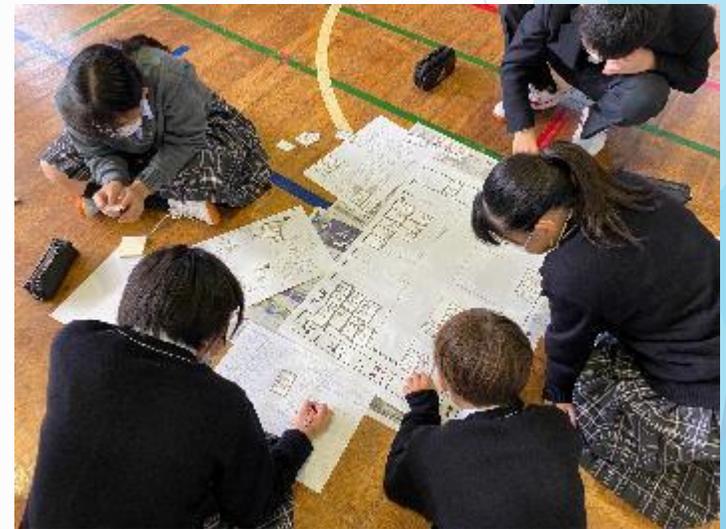
⇒ 高齢者の避難/要援護者の避難場所への移動、避難所でのサポートの必要性  
要援護者リストを行政/高齢者あんしん相談センター/町会等で共有できる仕組み

## <②会議内容>

- 町会加入率の低下により、町会単位での要援護者の把握が難しい
- 要援護者リスト等の、個人情報取り扱いについて

⇒町会未加入者への災害に関する情報提供方法の工夫  
災害時、要援護者リストの閲覧権限と閲覧方法

## < 恩方中学校HUGの様子 >



## < 若年層への取り組み >

- ◆恩方中学校1年生対象 HUG(避難所運営ゲーム)  
主催:社会福祉協議会  
協力:包括恩方

## < 介護支援専門員への働きかけ >

- ◆圏域内居宅介護事業所  
ケアマネ交流会での避難所運営ゲーム

# ○令和4年度

## <地域ケア会議開催>

### ◆恩方地区 2回開催

#### ①テーマ:避難行動要支援者の避難支援の取組について

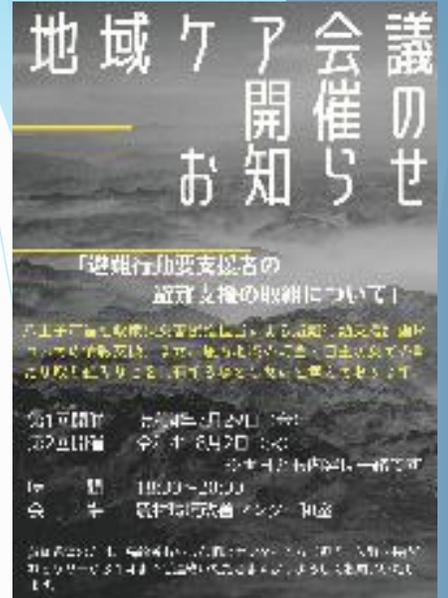
参加者:町自連会長、恩方圏域自主防災会、町会防災担当、圏域CM、特別養護老人ホーム、八王子市福祉政策課災害援護担当、市民部恩方事務所、高尾警察警備課、高尾警察駐在所、地域推進拠点恩方、包括恩方生活支援コーディネーター

### ◆美山町会1回開催

#### ①テーマ:避難行動要支援者の避難支援の取組について

参加者:美山町会自主防災会、圏域CM、第9地区民生委員、八王子市福祉政策課災害援護担当、八王子警察警備課、八王子警察上川口駐在所、地域推進拠点川口、包括恩方生活支援コーディネーター

⇒個別支援計画対象者ではないが、  
避難が大変な人って沢山いるよね？



< 地域ケア会議の様子 >

## ②テーマ:平常時から災害対策を考える

参加者:圏域CM、特別養護老人ホーム、地域福祉拠点恩方  
包括恩方生活支援コーディネーター

### <CMの考える災害時に心配な方とは？>

- 高齢独居、認知症や精神疾患等にて判断や実行に課題のある方
- 医療依存度の高い方
- 視覚障害、聴覚障害、ADL低下に伴う避難行動をとることに困難のある方

⇒災害時の**情報収集**(災害の情報が得られる)、**判断**(情報を理解し必要な避難行動に移るかどうか決定できる)、**実行**(避難行動をとる)のどこかに課題のある方が心配！

### <必要な支援とは？>

- 情報収集:アプリの活用、CMやKP等支援者からの情報提供、安否確認、地域の見守り
- 判断:自助で行える場合は避難方法の確認。平時より支援者/協力者とつながる  
平時より災害に備え、避難時の持ち物をリスト化し準備しておく。
- 実行:自宅避難可能な場合は、平時より食料/ライフラインの確保  
避難所への避難が必要な場合は、状態に応じて送迎手段の確保  
医療/介護に心配のない避難場所の確保



## 施設にできることは？

一時避難所へ行く前のワンクッションとしての避難所

福祉車両を利用した送迎

避難時に医療や介護を提供できる場所である

## 施設に力を借りたいことは？

一時避難所での避難生活が困難な方に、避難場所の提供

移動困難な方への移送支援

⇒施設が**1.5避難所**としての機能を果たせないだろうか？

※1.5避難所：一次避難所より支援が受けられる避難所として、関係者間でつけた名称

# 1.5 避難所への避難訓練をやってみよう！

設 定:令和4年9月30日  
大型台風が関東圏直撃。  
9時50分 恩方地区に高齢者避難指示発令

避 難 所:恩方ホーム ホール  
避難誘導:自宅⇔施設 を恩方ホームの福祉車両にて  
避 難 者:89歳女性 要介護2 シルバーカーにて歩行  
令和元年の台風19号で一時避難所へ避難したが、  
避難所内を歩行器を押して歩くスペースがなく、  
長時間避難は難しいとCMへ相談があった方。

参加した住民から  
「施設で受け入れてもらえ避難できる体制があったら、とても安心に暮らせる」  
ご家族から  
「心強かった」  
「このような仕組みがあったら災害も怖くない」

⇒関係者間においても、このような避難体制構築の必要性を共有

- 1施設で災害時に対応できるのは施設周辺の住民に限られてしまう
- 避難のタイミングによっては、支援者の身の安全の確保も大切
- 福祉避難所の登録を行っているが、福祉避難所の詳細(開設のタイミングや機能等)がわからないため、  
1.5避難所をどのように運営していけばよいか



# ○令和5年度

## <目的>

圏域内施設の防災に関する現状と課題の共有  
防災への取り組みと、地域への協力体制  
福祉避難所についての情報共有

## <地域ケア会議開催>

### ◆恩方地区 1回開催/ テーマ:地域防災について考える

①防火防災診断について

②福祉避難所について

参加者:町自連会長、恩方圏域自主防災会、町会防災担当、第10地区民生委員、  
圏域CM、特別養護老人ホーム、老人保健施設、障害者福祉施設、八王子消防署、元八王子分署、  
八王子市福祉政策課災害援護担当、八王子市防災課、高尾警察警備課、上恩方駐在所、  
下恩方駐在所、西寺方駐在所、はちまるサポート恩方、包括恩方生活支援コーディネーター

### ◆美山町会 1回開催/テーマ:地域防災について考える

①防火防災診断について

②福祉避難所について

参加者:美山町会自主防災会、第9地区民生委員、圏域CM、特別養護老人ホーム、老人保健施設、  
障害者福祉施設、八王子消防署、檜原分署、八王子市福祉政策課災害援護担当、八王子市防災課、  
八王子警察警備課、上川口駐在所、はちまるサポート川口、包括恩方生活支援コーディネーター

## <会議内容>

- 避難行動要支援者の計画作成における避難場所の検討
- 福祉避難所について
- 避難行動/避難生活に課題のある方への対応

## 課題

- ・市と防災に関連した各組織間の情報共有/連携の在り方の検討
- ・個人情報取り扱いによる組織間の連携困難
- ・災害時の個人情報の取り扱いにおける緊急時対応の検討
- ・福祉避難所について受け入れ施設側のキャパシティの問題(備蓄品目や量、保管スペースの確保、人員不足、運営等)
- ・支援者の確保が難しいし認知症や障害児者、歩行困難者等の災害弱者への避難を進めるため、「防災」と「福祉」が一体となって1人1人に合わせた避難方法を考える必要性。
- ・災害時と平時が垣根なくつながっていく仕組み作り
- ・町会未加入者等への災害に対する情報伝達方法



# 5 今後について

## ○地域との取り組み

- ・今まで通り、自主防災組織や町会等との定期的な話し合いの場を持っていく。
- ・地域住民への、防災に対する知識や仕組み作りの普及啓発の継続。
- ・災害時、地域の担い手となるであろう、若年層への働きかけの継続。

## ○関係各所との取り組み

- ・避難行動要支援者や、その他支援が必要な方たちへの防災についての課題検討や避難等の仕組み作りの継続。

⇒台風19号を忘れない！

ご清聴ありがとうございました